

会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会平成22年度第3回定例会会議記録
開催日時	平成22年6月23日（水曜日） 18時30分から19時45分まで
開催場所	田無公民館 第2学習室
出席者	会長：大島眞之 副会長：千葉桂子 委員：幸内悦夫、定盛秀俊、渡辺文子、古賀節子、須磨田純子、森忠、福島憲子、加藤真理、萩原建次郎、上田幸夫 職員：相原館長、山本主幹、近藤係長、寺嶋分館長、小笠原分館長、玉木分館長、平井分館長
欠席者	西嶋剛昭、柴山隼
議題	(1) 第2回定例会の記録について (2) 報告事項 1 行政報告 2 事業計画書・報告書について 3 公民館だより編集室報告 4 都公連大会企画委員会報告 5 都公連委員部会運営委員会報告 (3) 協議事項 (4) 事務連絡及び情報交換 (5) 次回の日程について
会議資料の名称	(1) 事業計画書 1 めざせM-1 お笑い講座（柳沢） 2 女性問題講座「みつけよう！わたしのはたらきかた」（柳沢） 3 フードコーディネーターによる料理&食材レッスン 夏の食材編（田無） 4 国際理解のための講座1「国際社会の問題点と国際協力のあり方について考える」（田無） 5 国際理解のための講座2「ロシア語基礎講座」（田無） 6 針穴カメラワークショップ「オリジナルカメラで撮る」（芝久保） 7 青少年文化講座「エンジョイショパン」（谷戸） 8 子育て中の女性のための講座（ひばり） 9 保谷駅前公民館合唱発表会、第2回ジョイントコンサート（駅前） 10 親子いろいろ体験教室「世界に一つの樹木図鑑を作ろう」（駅前） (2) 事業報告書 1 田無公民館まつり「歌声コーナー」（田無） 2 陶芸窯利用講習会（芝久保） 3 健康講座「経絡リンパマッサージ」（ひばり） 4 子ども陶芸講座（駅前）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
傍聴者	<input type="checkbox"/> 有り（人） <input checked="" type="checkbox"/> 無し
会議内容	
<p>○会長： 定刻につき、開会する。</p> <p>(1) 第1回定例会の記録について</p> <p>○副会長： 記録の修正についての申し出等を確認する。</p>	

○職員：
特になし。

○副会長：
配付した記録のとおりとする。

(2) 報告事項

1 行政報告

○副会長：
報告を受ける。

○館長：
第2回定例市議会での公民館関係の一般質問等について。

1点目は、東伏見駅前の商店街活性化に関して質問が出たが、その中で、空き店舗に公民館・図書館機能のある施設を入れられないかという趣旨のものだが、計画の予定がないことは以前から申し上げており、その方針に変化はないことを回答した。

2点目は、公民館施設の現状について、という趣旨の質問があり、施設の改修については計画的な改修について努めている件を回答したところ、関連して備品の利用状況について再質問を受けた。具体的には、谷戸公民館の地デジテレビを購入したようだが、利用実績がないのではないかというものであった。

この質問を受け対策を練った。1点目、52型テレビがあることのポスターを掲示する。2点目、テレビが公民館にあることがわかるように、実際に公民館が活用する。3点目は、職員が利用団体等に直接声をかけて利用について薦める。などである。

次に、月刊社会教育という機関誌に芝久保公民館の事業が紹介された。

○職員：
平成20年1月と平成21年1月に行った「地域で創る教育ネットワーク講座」について寄稿した。地域づくりのアプローチとして、教育を通じた地域づくりについて考えた講座である。計画書にもあったとおりで、PTA、育成会、利用者連絡会等の協力を得て行っている。詳細については、雑誌を読んでほしい。

○委員：
52型テレビだが、移動は可能なのか。

○館長：
谷戸と田無については、大型のキャスターがエレベーターに入らないために移動が困難になっているので、小型のものを購入したい。

○会長：
谷戸の事業計画を見ると、早速講座で使うことになったようだ。積極的に活用してほしい。

○館長：
DVD・VHSプレーヤーとの接続を基本として、モニターとしての貸出しが公民館での利用法になる。他に具体的な利用方法に関する提案があれば伺いたい。

○委員：
ひばり公のロビーでテレビ放送の視聴用に使っていたが、あのテレビを貸出し用を使うという意味

か。

○館長：

災害発生時には、ロビー等でテレビとして活用することになるが、通常期には団体学習用のモニターとして購入したので、積極的に貸出したい。

○副会長：

実際の利用について報告はあるか。

○職員：

テレビがあることをPRしたところ、本日の午後に早速団体が使った。DVDのソフトを持ち込み、活動の資料にしたようだ。こうした利用が主たる目的になると考える。

○副会長：

私たちのサークルでも、自分たちで撮影したビデオの映像を見ながら練習したいと思っていたので、備品の予約を予定している。

他に質問等なければ、終結する。

2 事業計画書・報告書について

○副会長：

質問・意見を受ける。

○委員：

これまでの計画を見ると、各1日号の公民館だよりに掲載して3日以降に申込みがスタートすることが多いと思うが、3頁のフードコーディネーターは2日からの申込みだ。2日からの申込みで先着順にすると考える間がなく締め切りになってしまうのではないか。抽選にする予定はないのか。

○職員：

確かに3日以降の受講受付は多いと思うし、通常はそうしていると思う。ただし、講座の開始日や毎月の3日の曜日の巡りによっては今回のようなケースも致し方ないと思う。3日以降の申込み開始というような申し合わせは特にしていない。

○職員：

先着順か、抽選にするのかは担当者と協議したい。

○職員：

電話受付での抽選というのは、現実的ではないので、もし抽選が必要と思われるケースに関しては、往復葉書受付にするよう指導はしている。

○委員：

2日の電話受付時に公民館だよりが自宅に届いていないということがあった場合、その後手にした人が申し込んだら一杯だったということでは問題かと思ったが。

○職員：

それは、掲載の方法論というよりも、配布委託をしているシルバー人材センターとの契約に関する事項のことと思うが、いかがか。もしも、指摘のような事例が発生したら、即時シルバー人材センターに連絡して配布してもらおう措置を取っているが、そうした事例を未然に防ぐ意味から、申込み開始を3日以降にしているということはないと考える。

○委員：

私の記憶の限りでも、ほとんどの講座で3日以降の開始であると思う。ところが、この計画を見れば、9日からスタートを切る講座でもあり、1日でも早く受付を開始したいという担当の意思は理解できる。必要があつての措置と考える。

○委員：

4頁、5頁の国際理解講座だが、毎年申し込みが多い。受付時に初めての人優先という配慮はあるのか。できれば優先してあげてほしい。

○職員：

配慮するよう担当と協議する。

○委員：

そのあたりも、例年の好評さを配慮して会場を視聴覚室にして定員を増やしているようだ。しかし、2回目の人よりも初回申込みの人を優先する旨の記事を記載するよう配慮してほしい。

○委員：

3、6、10頁の親子及び子ども対象講座だが、夏休みの講座としてはタイムリーだと思う。まずは田無の「フードコーディネーター」だが、学校でも食育に力を入れており、合わせて有機農法について学べるというのは一挙両得だと思う。願わくば、もっと人数をふやせなかったのだろうか。

芝久保の「針穴写真」は、今となつてはあまり経験のできない内容だ。親子で楽しめて非常によい。自由研究にもなると思うので、ぜひ講座の様子を写真に撮ってほしい。展示会のときにも、そのあたりに工夫してはどうか。ただし、実施日が少しばかり遅いのが気になる。

駅前の「樹木図鑑」だが、参加すれば、タイトルどおりに図鑑が完成するところがよいと思う。材料はいらぬのか。

○職員：

何も必要ないと聞いている。

○委員：

せっかくの図鑑でもあり、後々使える装丁にしてほしい。これも、8月下旬であり、もっと早くできなかったのか。

○副会長：

可能な範囲で意見を取り入れてほしい。

○職員：

この内容で大人対象で行ったら、おそらく即日定員一杯になるものとする。

フィールドワークを大切にしている内容であり、公民館内だけが講座を行う場所ではないと思っている。今回は、東大の試験地との共同事業として実施する。

○委員：

13頁のひばり公の「経絡マッサージ」だが、終始大変和やかな雰囲気のまま最終回を迎えたが、結局サークル化に結びついた報告を得ていないが、各自情報交換はしていた。

欠席する方も少なく。男性も少数だがいた。

○職員：

定員をはるかに上回る申込みを受けているので、秋には、趣向を変えて再度行いたい。

○副会長：

床に直接寝転がるのには抵抗を感じたという、利用者の声については、今後はどう対策を講ずるのか。

○職員：

次回の開催時には、充分配慮したい。

○委員：

柳沢公の「目指せM-1」とは初実施か。

○職員：

今年で2回目の企画だ。

○委員：

年齢構成はどうであったか。

○職員：

中学生コンビから70歳代の高齢者コンビまでバラエティーに富んでいたが、そもそも青年期教育講座に該当する。

○委員：

私は、昨年の講座を実際に目にしたが、グランプリ当日も面白かったが、そこに至る過程での葛藤が多くあったものと拝見した。参加者は皆意欲的だったと思う。

○副会長：

他になければ、終結する。

3 公民館だより編集室報告

○副会長：

報告を求める。

○委員：

6月2日に開催した。

先月報告した編集室の位置づけについて協議を開始した。

6月号の反省。1面の内容は好評とのことだ。

8月号1面だが、例年のごとく平和について考える記事だ。「あなたにとっての平和とは？」をテーマにして、抽出した市民から意見を聞いたり、アンケートを実施するなどしてまとめたい。サークル訪問は「柳ネーゼ」。

8月号で公運審コラムの執筆が一巡するため、9月以降の順番を決めたので報告したい。

9月加藤、10月上田、11月萩原、12月幸内、1月定盛、2月渡辺、3月森、4月古賀の各委員で決定したい。

○副会長：

特になければ終結する。

4 都公連大会企画委員会報告

○副会長：
報告を求める。

○委員：
6月13日に第3回の企画委員会が小平市で行われた。
先月の議論を基にして大会テーマを協議し「はばたけ公民館！！みんなで作る新しい公民館とは」に決定した。その後、大会趣旨文を叩いた。こちらも来月の会議までには決定し、各分科会の準備も、これら大会のテーマに沿って決定することになる。
なお、5つの分科会ごとに、何を課題にするのかの希望を調整中だ。こちらも、来月までに調整を済ませることで合意した。

○副会長：
質疑を受ける。
特になければ、終結する。

5 都公連委員部会運営委員会報告

○副会長：
報告を求める。

○委員：
前日も報告したが、今年度第1回研修会は、7月17日に昭島市において行う。
13時30分から14時までは全体総会として役員の変更等の報告を受け、14時から16時までが研修会になる。大東文化大学の片野講師を迎えて、公運審の役割、公民館の基礎知識について講演してもらう予定だ。グループ討議の時間もある。
第2回以降の日程だが、11月7日の日曜日と2月26日の土曜日に決定した。研修内容については、今後決定次第報告する。

○副会長：
質疑を受ける。
特になければ、終結する。

(3) 協議事項

○会長：
本日は特に予定はない。次月以降の協議内容については、気がつくことがあれば事務局に申し出てほしい。

(4) 事務連絡及び情報交換

○会長：
事務連絡はあるか。

○職員：
特になし。

○会長：
以上で終結する。

(5) 次回の日程について

7月28日（水曜日）18時30分

於:田無公民館 第2学習室

○会長:

他に意見がなければ、閉会とする。